

1868 SAGA 2018

肥前さが幕末維新博覧会

佐賀さいこう博

150th ANNIVERSARY

2018.3.17 - 2019.1.14

佐賀県立名護屋城博物館 明治維新150年記念企画展

高橋是清と 辰野金吾

たいこうりょう
唐津藩洋学校耐恒寮をめぐる人々

2018年

7.20(金)-8.31(金)

観覧無料

休館日: 毎週月曜日

開館時間: 午前9時～午後5時

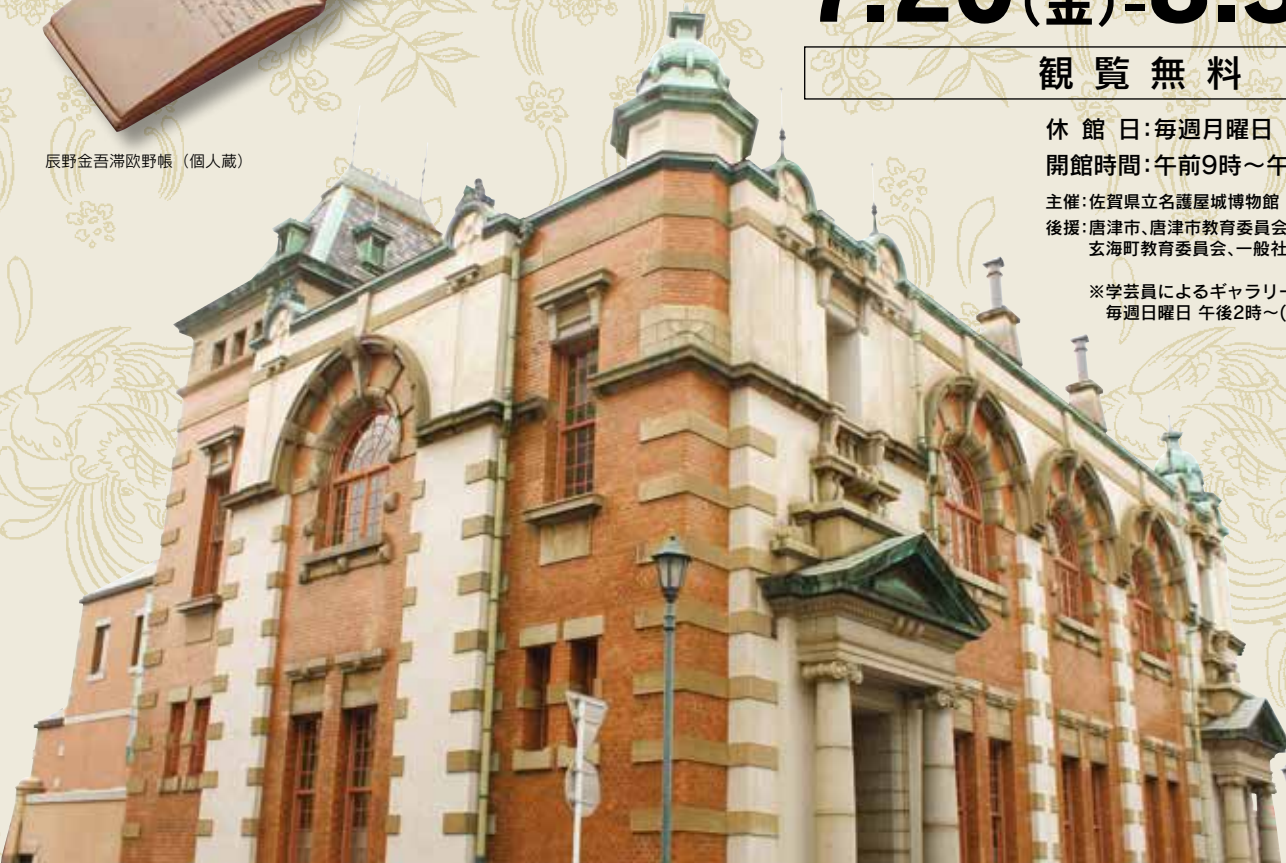
主催: 佐賀県立名護屋城博物館

後援: 唐津市、唐津市教育委員会、玄海町、
玄海町教育委員会、一般社団法人唐津観光協会

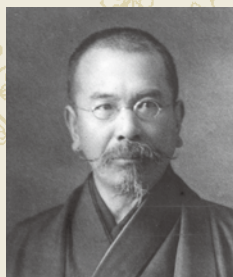
※学芸員によるギャラリートーク
毎週日曜日 午後2時～(40分程度・8/19は除く)



辰野金吾滞欧野帳 (個人蔵)



佐賀県重要文化財
旧唐津銀行
(唐津市本町)
設計: 田中 実
監修: 辰野金吾



左から、高橋是清(青年期)、辰野金吾、曾禰達蔵、大島小太郎、麻生政包、天野為之(高橋是清写真は東京都江戸東京博物館蔵、麻生政包写真は個人蔵、その他は唐津市提供)
旧唐津銀行写真は一般社団法人佐賀県観光連盟提供、背景は「有職花鳥立清模様」意匠登録意匠案(川島織物文化館蔵)



佐賀県立名護屋城博物館
Saga Prefectural Nagoya Castle Museum

〒847-0401 佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931番地3
TEL:0955-82-4905 FAX:0955-82-5664
e-mail:nagoyajouhakubutsukan@pref.saga.lg.jp

高橋是清と辰野金吾

唐津藩洋学校耐恒寮をめぐる人々

明治維新を契機に社会の近代化が積極的に進められるなか、唐津では明治4(1871)年に洋学校「耐恒寮」が開設され、藩士の子弟に英語教育や洋式教練が行われました。このとき、アメリカへの渡航経験を買われて英語教官として赴任したのが、のちに大蔵大臣や内閣総理大臣を務めることになる高橋是清でした。

高橋是清から薫陶を受けた教え子の中からは、近代日本建築の発展をけん引した辰野金吾や曾禰達蔵、九州の炭坑開発に功績を残した麻生政包、唐津地域の経済・産業界の発展に尽くした大島小太郎、経済学者・天野為之などの人材が輩出されました。

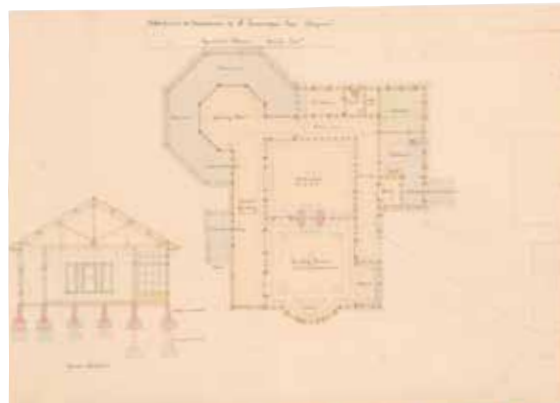
明治維新150年を機に開催する本展覧会では、高橋是清や辰野金吾をはじめとする耐恒寮出身者ゆかりの品々を一堂に紹介します。郷土を巣立ちわが国の近代化のあゆみに大きな足跡を残した人物について、より身近に感じていただく機会となれば幸いです。



耐恒寮跡(唐津市大名小路)



大日本帝国政府日本銀行全景(日本銀行金融研究所貨幣博物館蔵) 明治29年 辰野金吾の代表作を描く錦絵

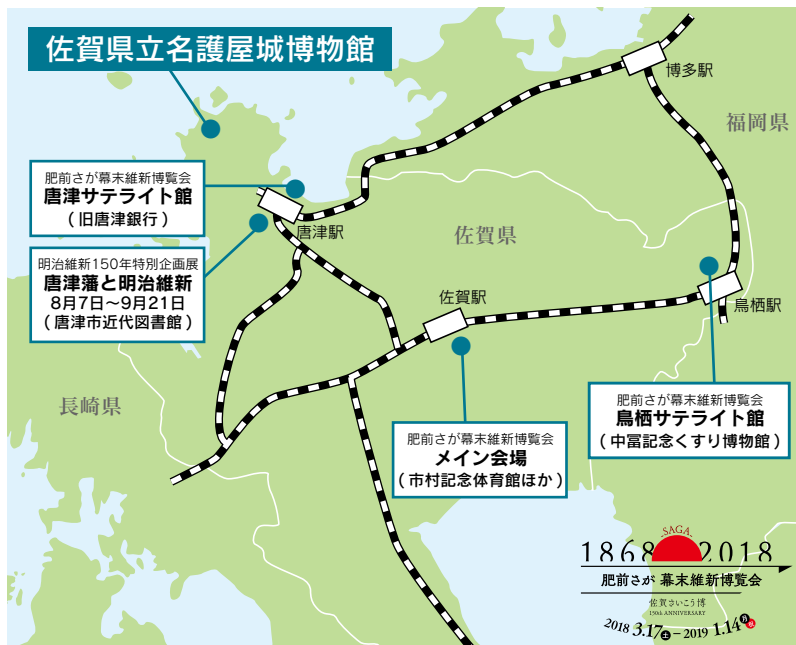


重要文化財 コンドル建築図面 岩永邸設計図 (京大大学院工学研究科建築学専攻蔵) 明治44年頃 辰野・曾禰を指導したコンドルの設計図面



毎月受取之通(首都大学東京図書館蔵) 明治4年 耐恒寮時代、高橋是清の給与

一部の資料については、会期中に展示替えを行います。あらかじめ御了承ください。



明治維新150年記念特別講座 in 唐津
「辰野金吾の建築と旧唐津銀行」
 2018年8月19日(日) 13:00~16:00

参加無料

講師：小野 将史氏(佐賀県教育委員会文化財課)
 会場：大手口センタービル3階 唐津市民交流プラザ
 (唐津市南城内1-1)
 備考：定員100名程度(事前申込不要)
 講座終了後、旧唐津銀行等を見学します。

主催/佐賀県立名護屋城博物館
 共催/唐津市

当館までのアクセス
【公共交通機関】
 唐津大手口バスセンターもしくはJR唐津駅から昭和バスで約40分、
 「名護屋城博物館入口」下車、徒歩5分
【自動車】
 <福岡方面から>
 福岡都市高速・福岡ICから前原有料道路・二丈浜玉道路を利用し約75分
 <佐賀方面から>
 長崎自動車道・多久ICから約70分